

## 名古屋大学哲学学会会則

第1条 本会は名古屋大学哲学会と称する。

第2条 本会は哲学研究の進展と普及に努め、併せて会員相互の研究所の連絡と親睦を図ることを目的とする。

第3条 本会はこの目的を達成するために左の事業を行う。

- 1 年1回の研究大会の開催
- 2 研究発表会、講演会等の適時開催
- 3 会報ないし機関誌の発行、配布
- 4 その他必要な事業

第4条 本会は一般会員、教員会員、特別会員より構成される。

・一般会員：次の①もしくは②のいずれかに該当する者

①名古屋大学文学部、大学院文学研究科、人文学研究科哲学研究室に過去に在籍した者および現在在籍している者

②①以外の、名古屋大学に過去に在籍した者もしくは現在在籍している者で、入会を希望する者

・教員会員：名古屋大学文学部・文学研究科哲学研究室、および情報科学研究科(旧教養部)哲学系研究室に過去に所属した教員、および現在所属している教員

第5条 本会は左の役員をおく。

- ・委員：若干名
- ・会計監査：2名
- ・幹事：若干名

第6条 総会は年1回定期的に開き、その他必要があれば臨時に開くことができる。総会は会員の中より委員および会計監査を選出する。また総会は一般報告並びに会計報告を受ける。

第7条 委員は会員の中より、教員・学生・卒業生、各若干名とする。

第8条 委員は委員会を構成し、総会の決定に従って会の運営について協議決定する。

第9条 委員の中より委員長1名を選出する。委員長は本会を代表する。

第10条 委員の任期は2年とする。

第11条 会計監査は年1回会計を監査する。その任期は2年とし、他の役員を兼ね

ることはできない。

第12条 幹事は委員会より委嘱され、任期1年とし、本会の事務を行う。

第13条 役員はすべて再任をさまたげない。

第14条 本会の会員は、左に定める年会費を納めるものとする。但し、教官会員の  
内、過去に所属した教官は、一般会員と同額の年会費を納めるものとする。

一般会員 2,000円

教官会員 3,000円

特別会員 3,000円

第15条 本会則は委員会の決議を経て変更することができる。但し、総会の承認を  
要する。

\*

次号の『名古屋大学哲学論集』は2022年3月に発行予定です。執筆者の募集は  
2021年度に行われます。

## 執筆者紹介

鶯子 修司	(うこ しゅうじ)	日本福祉大学非常勤講師
大林 侑平	(おおばやし ゆうへい)	名古屋大学大学院博士課程後期課程
加藤 皓士	(かとう こうじ)	名古屋大学大学院博士候補研究員
久保田 祐歌	(くぼた ゆか)	関西福祉科学大学准教授
香春	(こうしゅん)	名古屋大学大学院博士研究員
城田 純平	(しろた じゅんぺい)	人間環境大学助教
鈴木 真	(すずき まこと)	名古屋大学大学院准教授
辻 春香	(つじ はるか)	名古屋大学大学院博士課程後期課程
成瀬 翔	(なるせ しょう)	杉山女学園大学特任研究員
長谷川 暁人	(はせがわ あきと)	愛知県立大学非常勤講師
布施 哲	(ふせ さとし)	名古屋大学大学院准教授
松井 貴英	(まつい たかひで)	九州国際大学教授
宮原 勇	(みやはら いさむ)	名古屋大学大学院教授